

食品リサイクルの状況

国の食品リサイクル目標

食品リサイクル法

検索

業種別目標

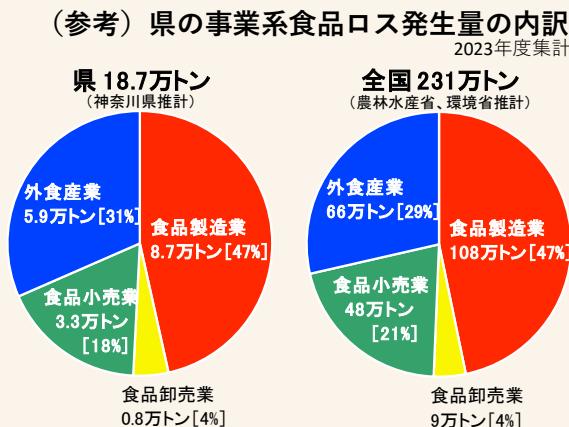
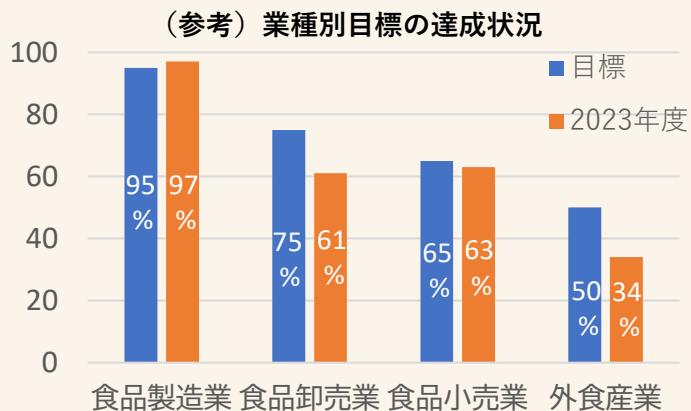
2029年度までに、業種全体で次の目標を達成する。

食品製造業 95% 食品卸売業 75% 食品小売業 65% 外食産業 50%

事業者の目標

基準実施率を算出し目標値とする。（※詳細は農林水産省HPをご参照ください。）

基準実施率 = 前年度の基準実施率 + 前年度の基準実施率に応じた増加ポイント



かながわの食品リサイクル業者

食品関連事業者の皆様へ

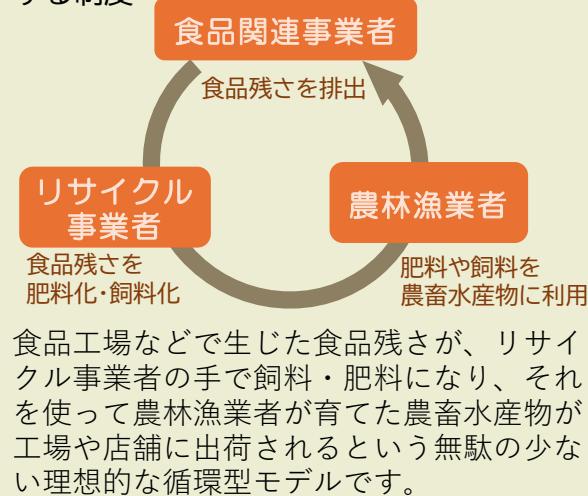
食品廃棄物の発生抑制とリサイクルにご協力をお願いします



リサイクルを進める制度

食品リサイクルループ認定制度

食品事業者、リサイクル事業者、農林漁業者が連携し、地域リサイクルループを構築する制度

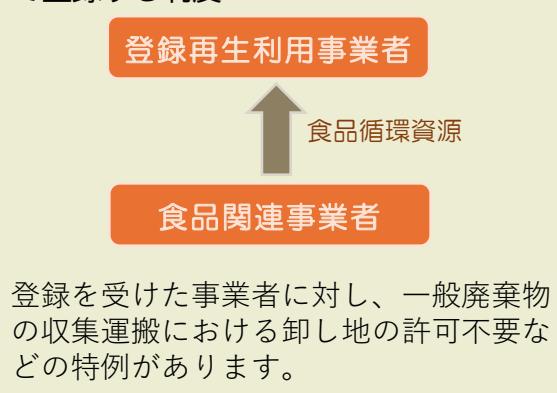


※ このリーフレットは神奈川県からの受託事業として公益社団法人神奈川県産業資源循環協会が作成しました。発行 2026年2月

神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課
横浜市中区日本大通1-231-8588 電話(045)210-1111(代表)

登録再生利用事業者制度

優良リサイクル業者の育成のため、要件を満たすものを登録再生利用事業者として登録する制度



さらに詳細な情報は？
神奈川県ホームページから確認できます。



ごみを出さない

ごみを出さない工夫をしましょう

- 食品製造業者
製造時に出る規格外品を有効活用
- 食品卸売・小売業者
季節商品を予約制にするなど需要に応じた販売
- 外食業者
小盛りや小分けメニューなど食べきれぬ量を選択できる仕組みの導入

リサイクルする

リサイクル業者に依頼しましょう

- 飼料化
乾燥・粉砕や液状にし家畜の飼料として利用
- 肥料化
おがくずなどの副資材と混ぜて好気性発酵し肥料として利用
- メタン発酵発電
メタン発酵し生じたガスで発電



神奈川県では、廃棄物ゼロ社会を基本理念とし、「循環型社会づくり計画」に基づき、フードチェーン全体の食品リサイクルを推進しています。



各事業所の所在地

かながわの食品リサイクル業者



食品製造業

大豆粕・米ぬか、パン・菓子くず
おから、返品など



小売業・卸売業

調理くず、食べ残しなど



外食産業

調理くず、加工食品、
弁当など

飼料化

堆肥化

メタン発酵発電

登 …登録再生利用事業者

1 (株)鈴木油脂

伊勢原市下糟屋東3-18
本社工場（環境事業部） TEL:0463-94-3420

受入品目 動・植物性廃油
(鉱物油は受入不可) → **リサイクル手法** バイオ燃料化 (SAF)
飼料化

・当社環境事業部では廃食油の回収・リサイクルサービス、厨房の衛生環境サービスなどの業務を中心に据え、神奈川県内唯一の廃食油中間処理リサイクル工場を稼働させ、地域の環境保全と向上に努めています。
・今後も地元神奈川を中心に地域社会への貢献に努めます。



<https://www.suzuki-oil.co.jp/>

2 湘南有機リサイクル(株)

藤沢市葛原1731-1 TEL:0466-49-4020

受入品目 全般食品残渣
(スーパー、コンビニ) → **リサイクル手法** 飼料化
(エコフィード)



<http://www.sugiyama-s.co.jp/>
※関連会社の榊山商店のホームページが開きます

3 (株)日本フードエコロジーセンター

相模原市中央区田名塩田 1-17-13 TEL:042-777-6316
Mail:Info@japan-fec.co.jp

受入品目 食べ残し、高塩分や高脂肪
分の食品も受入可(条件有) → **リサイクル手法** 飼料化

第2回「ジャパンSDGsアワード」内閣総理大臣受賞!
・「食品ロスに新たな価値を」を企業理念に、食品廃棄物を有効活用する養豚用のリキッド発酵飼料(リキッド・エコフィード)を開発し、廃棄物処理業と飼料製造業の二つの側面を持つ新たなビジネスモデルを実現しました。
・この飼料で育った豚はブランド肉として販売され、食品ロスを減らすと同時に、生産から消費まで継続性のある“食べものの環” = 「リサイクルループ」を構築。



<https://www.japan-fec.co.jp/>

4 さがみはらバイオガスパワー(株)

相模原市中央区田名塩田1-16-14 TEL:042-711-8461
★連絡先 榊日本フードエコロジーセンター(J.FEC) TEL:042-777-6316

受入品目 食べ残し、高塩分や高脂肪分の
食品も受入可(条件あり) → **リサイクル手法** メタン発酵
バイオガス発電

・飼料原料に向かない塩分・脂肪分の高い食品廃棄物を原料としたメタン発酵によるバイオガス発電に加え、消化液から肥料原料を製造します。
・飼料化施設J.FECとの併設で、飼料化・肥料化・エネルギー化の「食のカスケード利用」を実現します。



<https://www.sbp.co.jp/>

5 (株)デスポ

横浜市都筑区池辺町3970 TEL:045-931-6111

受入品目 未利用食材、食料品
(塩分を抜いたもの) → **リサイクル手法** 堆肥化
『有機活き活き畑』

・横浜市内に施設を有し廃棄物処理を行っております。
・堆肥は農家の方や、地域の方に家庭菜園での利用をしていただいています。
・利用者の方から「いつもより収穫が出来た」、「実の付きが良くなった」と報告を頂き、時には生産した野菜を提供していただくこともあり、リサイクルループを実感し事業者の励みになっています。
・未利用食材や加工前の食品を原料にしております。
・ご興味ございましたらご一報ください。



<http://www.dispo.co.jp/>

6 (株)二見

小田原市中町3-13-22 TEL:0465-23-3125

受入品目 塩分・油分を抜いた
添加物のない野菜 → **リサイクル手法** 堆肥化・飼料化

・当社は、今ニーズが高い食品リサイクルの施設を自社保有し、食品スーパーから廃棄される売れ残り野菜を中心に、回収から再生処理、堆肥の販売までを一貫して行っております。
・ただし現状では、品質確保の観点から塩分・油分濃度を一定以下に保つようにしており、新規の受入れについてはお断りする場合がございますことをご了承ください。



<https://www.futami.net>

7 横浜環境保全(株)

横浜市金沢区鳥浜町2-17 TEL:045-651-6680

受入品目 生ごみ(一般廃棄物)
動植物性残渣(産業廃棄物) → **リサイクル手法** 堆肥化
燃料化

・「未来そして子供たちのために環境保全事業を通して地域社会に最も貢献する」を企業ミッションに地球の健康に寄与できるそんな企業を目指し努力を続けます。
・生ゴミ(外食産業及び給食)、コーヒーかす、剪定枝などを自然発酵させる堆肥化施設です。
・発酵させて精製した安心・安全・無添加の有機肥料で、神奈川県が、品質・安全性等の一定基準に適合していると認め、認定するリサイクル製品です。



<https://www.y-kankyo.co.jp/>

8 (株)Jバイオフードリサイクル

横浜市鶴見区弁天町3-1 TEL:045-505-7845
★営業窓口 J&T環境 TEL:044-330-9477
東日本環境アクセス TEL:03-3836-1555

受入品目 容器入りの食品や液体飲料まで、
食品系廃棄物全般を受入れます。 → **リサイクル手法** メタン発酵
バイオガス発電
詳細はお問い合わせください。

JFEエンジGrとJR東日本Grの協業による 食品リサイクル&バイオガス発電事業

・横浜市初の食品廃棄物メタン化施設
・JFEエンジの最新技術で食品容器包装と有機物の分別を実現し、お客様の分別作業を軽減
・「横浜・鶴見」に立地しておりアクセス良好
・廃棄物の保管・管理も万全のセキュリティー体制
・発電した電力をお得に提供する「創電割®」の電力ループと、発酵残渣を肥料化しその肥料で育った作物をお客様が使用する農業ループによるダブルリサイクルループを展開



<https://www.j-bio.co.jp/>